JAPAN TRANSPORT SERVICE WORKER'S UNIONS
日本輸送サービス労働組合連合会
HOMEPAGE TWITTER
JTSU NEWS
2026,11,17
NO.034
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です

JR MECHATRONICS SERVICE WORKER'S UNION
JRメカトロサービス労組

申2号

11月16日「2026年度冬季手当に関する申し入れ」1回目の団体交渉を行いました

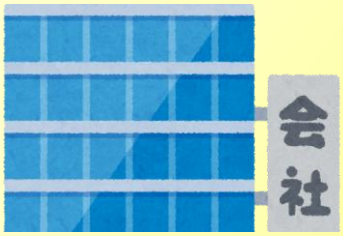
組合員・社員の貢献は会社も認めている！事業計画も上回る予測も明らかにした！
現場で働く組合員・社員の努力に報いるためにも満額回答を強く求める！

組合側の主張



◎第２四半期決算では売上高１８億２００万円（前年同期比１１５％）、進捗率４９．１％となり、決算資料でも「計画を上回って推移している」と発表している。また、すべての支店・部門で前年実績を上回っている。
◎第２四半期を終えた時点で営業利益は１億４，２００万円（前年同期２，７００万円の約５．２倍）に達した。通期目標の１４．２倍をすでに上期だけ達成している。
◎要員逼迫の厳しい環境下で業務効率を高め、高い付加価値を生み出したのは、現場で働く組合員、社員である。
◎人件費が増加していると言うが、営業利益は前年の２，７００万円から１億４，２００万円と１億１，４００万円も増えている。支払余力は十二分にあり、満額回答を強く求める。

会社の現状認識について



◆**組合員・社員の皆さんには、社業の遂行に対して貢献いただいていることに改めて御礼申し上げる。**まず、業績と足元の動向は、2026年度上期決算は、売上高18億200万円、営業利益1億4，200万円、対前年同期比増収増益となった。増収の要因は、各分野における労務単価の増額があったことに加え、出改札機の老朽取替、空調の修繕工事受注件数増、EG40改札機およびICモジュール3Cの組立、修繕単価のアップによることが大きく、**社員一人ひとりの努力、会社への貢献の成果であったと認識**している。
◆内閣府が発表した10月の月例経済報告では、景気は緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要があるとの基調判断がされている。また、先行きについて、雇用・所得環境の改善や、各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。金融資本市場の動向、変動の影響などに注意する必要があるとされている。
◆**今年度の通期の見通しは、上期終了時点では通期業績見込みは事業計画を上回る見込み。**今年度は、JRMS経営ビジョン2034を新たに掲げ、人と技術をつなぎ、当たり前の日常を未来にわたって支え続けるための取り組みを進めていく。
◆冬季手当の決定の基本スタンスとしては、業績率の判断にあたっては、上期業績のみならず、過去の支給実績、社会環境、、通期収支への影響などを総合的に勘案して決定する。

ＪＲメカトロサービス労働組合は、団体交渉を通じて要求実現に向けて精力的に取り組みます！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
JTSU は持続可能な開発目標（SDGs）を応援しています。